

## 1 市の概要

人口	1,517,756 人
保護率	2.03 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	14.4
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	5.7
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	3.9
就労・増収率(%)	68.0

## 4 事業実績（H30年度 学習支援・居場所づくり事業実績）

中学3 年最終 登録者	進学先等					高校等 進学率
	全日制	定時制	通信制	専門 学校等	就労等	
84人	61人	13人	5人	2人	3人	96%

## 3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約）
事業費	59,000千円（平成30年度）
理由 (委託)	○公募による企画提案方式で受託法人を選考することにより、各法人のノウハウや強みを活かした事業が実施できるため。
事業概要	○生活保護受給世帯の中学生の高校進学を支援するため、中学1～3年生を対象に『学習支援・居場所づくり事業』を実施。原則として、各教室にコーディネーター1名、学習支援専門員1名、サポーターは生徒2名に対し1名を配置。 ○利用回数は、原則、中学1～2年生は週1回。中学3年生は週2回。 ○平成24年度に市内2か所で教室を開設して以降、利便性の向上等を目的に教室を増設し、平成30年度は市内12か所で実施。
特記事項	○12か所の教室は、NPO法人3者、社会福祉法人1者、学校法人1者、株式会社1者に委託しており、各受託法人のノウハウや特徴を活かした学習支援を実施。

## 5 事業実施のポイント

～**貧困の連鎖を断ち切るために**～

●学習の習慣を身につけ、学力の向上を目指すことに加え、安定した学習環境や季節のイベントや化学実験など工夫を凝らした居場所を提供する中で、気軽に相談できる身近な大人との関係の構築や未来の選択肢を広げ、自己肯定感を高めるという事業目的を、受託法人、学習サポーターと共有し、事業を実施

### 【利用生徒の声】

○授業中に発言ができるようになり、自分に自信を持てるようになりました。  
○勉強以外の学校生活のことも気軽に相談できて、居心地の良い場所です。

### 【保護者の声】

○勉強をするサイクルができ、家庭での学習時間も増えました。

### 【卒業生の声】

○中学3年の秋の部活引退後に教室に通い始め、受験モードにスイッチを切り替えることがき、志望校に合格することができました。  
○勉強に自信が持てるようになり、お陰様で、毎日楽しく高校へ通学しています。

## 6 取り組んで良かったこと

○学習支援事業の卒業生は、利用していない卒業生に比べ、全日制高校への進学率が高い。  
○学習支援事業の卒業生が大学生となり、学習サポーターとして教室に帰ってくる事例もあり、好循環が生まれている。